

周波数再編アクションプラン（令和元年度改定版）（案）に対する意見

○重点的取組 「Ⅱ ダイナミックな周波数共有の推進」および「Ⅲ 自動運転及び Connected Car社会の実現に向けた対応」について

- ・「ダイナミックな周波数共有の推進」や「自動運転及びConnected Car社会の実現に向けた対応」を重点的取組として掲げることの意義は理解しますが、前者に記載された2.3GHz帯では放送事業用の既存無線システムとして、報道取材・番組制作に欠かせない素材伝送用のFPUが運用されており、両項目に記載された5.9GHz帯ではFPUに加え、放送本線の伝送を行う番組中継用の固定局が運用されています。昨年度のアクションプラン改定の際にも述べたとおり、これらの放送事業用無線システムは地上基幹放送において極めて重要な役割を担っており、今後も業務が支障なく継続できることが必要不可欠ですので、行政は既存免許人の意見を十分に聴取したうえで、“既存無線システムに配慮しながら”慎重かつ丁寧に技術検討を行うよう、あらためて強く要望します。
- ・地上デジタルテレビ放送等の周波数帯において、ニーズに応じた複数の無線システム間での高度な周波数共有のための検証を行う旨の記載がありますが、当該帯域では二次業務である特定ラジオマイクおよびエリア放送がホワイトスペースを利用しており、テレビ受信に有害な干渉妨害を発生させないように、緻密な技術検討によって策定された共用基準やチャンネルリストを遵守するとともに、無線局の運用情報を「TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会」に集約する形で共用を実現しています。高度な周波数共有のための検証にあたっては、行政はこれまでの共用の枠組みや実績、関係者の知見等を十分に把握したうえで、慎重かつ丁寧に作業を行うよう、強く要望します。

以 上